

## ジャンジャン横丁

大阪の「新世界」南東部に「ジャンジャン横丁」がある。正式には「南陽通商店街」というらしい。全長約 180m の商店街であるが、横幅は 2.5m と狭い。「ジャンジャン」とは、三味線の撥音に由来すると言われ、昔から賑わいのある横丁であった。

大阪とは長い付き合いだが、道頓堀など「ミナミ」とともに、「新世界」あたりもお気に入りだ。今から 40 数年前、貧しい大学院「浪人」時代の頃だ。アルバイト手当てが入ると、「ジャンジャン横丁」の安い飲み屋に出かけたことを思い出す。串カツなどを「あて」に、超安の酒を飲んだものだ。その頃は「おっちゃん」の街であり、すこし物騒だったが、独特の雰囲気はなんとも言えなかった。

今の「新世界」は、外国人観光客も多く、若い人であふれる観光スポットだ。「ジャンジャン横丁」にも多くの人が押し寄せ、狭い通りを歩くのも大変だ。老舗の串かつ屋さんは長蛇の列。昔ここに入ったことがあるが、閑散としていた。この変化には驚かされる。店の多くが繁盛し、将棋道場や碁会所を覗き込む人も目についた。

初めて訪ねたのが「平野屋」という立ち飲み屋だ。これには「わけ」がある。名古屋金山のよく行く店で、となりに座ったお年寄りが「平野屋」を教えてください。「あて」が美味くて、とにかく安いと。わざわざ近鉄特急アーバンライナーに乗って、よく行くそうだ。

狭い店で超満員だったが、なんとか割り込ませてもらえた。店の人も感じが良い。聞いていたとおり、刺身や湯豆腐など、じつに美味かったし、超割安だった。こんなお店なら、名古屋からアーバンに乗って出かけたくなるのも理解できる。

これからも「じゃんじゃん」出かけることにしよう。



(2016年2月26日)